



全景

地上園庭から屋上園庭へ 縦につながる遊びの場

城浜保育園 | 設計・監理：風土計画一級建築士事務所

定員増に伴う全面建て替え事業である。本園の特色は外国人園児の比率が高いことにある。外国で生活する我が子の安全と友だち作りという保護者の期待に応えるべく、園では一人ひとりを大切に保育を目指し、音楽や語学、多様な遊びを通してのびのびと成長できる「体験の場」づくりに努めている。園舎の計画では「全てが遊び場、体験の場」という基本方針を掲げ、立体的・回遊的な遊び空間の構成を試みた。基本である地上の園庭に可能な限りのスペースを与え、これを半屋外の開放廊下を介して0-1歳児保育室と連続させている。一方、三階レベルの広い陸屋根にも可能な限りの屋上園庭を設け、これを二階の以上児クラスと緩やかなスロープで結ぶ。空中歩廊のようなスロープはそれ自体が魅力的な遊びの場であるが、地上と屋上を子どもたちの声や視線で結びつけて立体園庭をつくり出す。園のエンブレムをいただく穴あきチー

ズのような階段塔とこの伸びやかなスロープは新園の象徴的存在となった。屋内でも一、二階の保育室と三階の遊びのフロアまでを開放的な階段室の吹抜けが貫いている。夏季には屋上プールの子どもたちの歓声がここを通過して一階まで下りてくることだろう。設計開始の時点で既に工期にゆとりはなく、仮園舎の計画と発注方式、本園舎の工法の選択など全体工程を見極めることに力が注がれた。結果、鉄骨造外壁 ALC の構成となるが ALC 特有の外観イメージは弱めている。細部では素材や形態、色彩に注意を払い、子どもたちを育む「体験の場」づくりに努めた。時間的な制約を乗り越えて新園舎が完成に辿り着いたのは、園長のリーダーシップと保育士のチームワークの賜物である。(大坪克也)



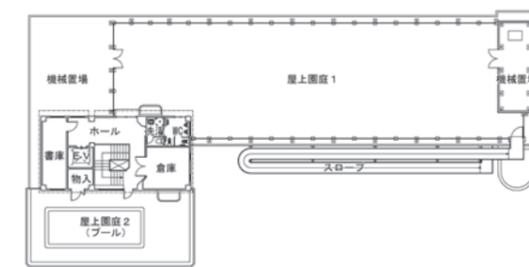
屋上園庭へのスロープ全景



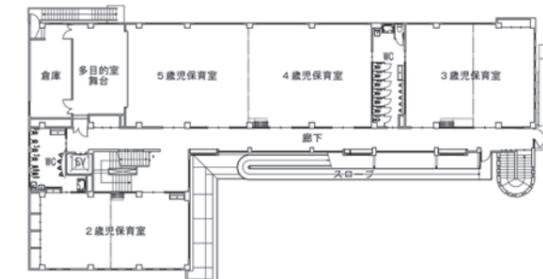
1階開放廊下



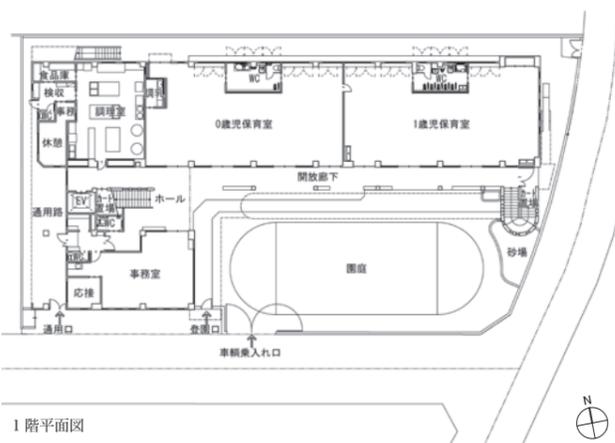
保育理念の掲げられた登園口



3階平面図



2階平面図



1階平面図



階段室

column

今回の園舎新築工事は、定員増員を必至とし、限られた敷地内中で如何に快適且つ有効利用できる空間が構築できるかが大きな課題でしたが、屋上を遊戯場として活用したり、収納スペースなどの工夫、更に2階保育室から直接屋上へ導くスロープなど導線にも細かく配慮いただき、子ども達の健やかな育ちを支える最高の空間を造り上げて頂きました。(城浜保育園 園長 増本律秀)



断面図

所在地	福岡市東区城浜団地 8-4	施工	建築：千早建設 電気・空調：永瀬電業
建築主	社会福祉法人みつる会	衛生	衛生：山口設備
用途	保育所	構造・規模	S造（一部RC造）地上3階
定員	250名	敷地面積	1,186.88㎡
構造設計	川崎構造設計	延床面積	1,386.76㎡
設備設計	シード設計社	竣工	2015年3月
		撮影	リンク福岡